

コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2025年1月31日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2014年12月29日 ~ 2025年1月31日

基準価額

22,329 円

(前月末比)

+426 円 (1.94%)

純資産総額

17.0 億円

(前月末比)

+0.3億円 (1.91%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	1.94%
3ヵ月	0.72%
6ヵ月	△3.95%
1年	△0.56%
3年	37.21%
5年	72.61%
10年	122.02%
設定来	123.29%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2020年12月	0円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
2024年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	90.5
しずおかフィナンシャルグループ株式	8.0
現金等・その他	1.4
構成銘柄数	30社



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	20.2%
電気機器	16.1%
化学	15.6%
サービス業	7.4%
卸売業	7.1%
輸送用機器	5.9%
その他製品	5.0%
食料品	5.0%
情報・通信業	4.8%
小売業	4.6%
金属製品	3.7%
医薬品	2.6%
建設業	0.6%
その他	1.4%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	17.7%
ウェルネス	16.5%
精密テクノロジー	13.8%
新素材	11.0%
快適空間	9.9%
資源・エネルギー	7.7%
地球開発	7.5%
未来移動体	5.9%
社会インフラ	4.7%
ライフサイクル	3.9%
その他	1.4%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 任天堂	生活ソリューション	娯楽を通じて人々を笑顔にする会社	5.0%
2 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	5.0%
3 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	4.8%
4 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	4.7%
5 セブン&アイ・ホールディングス	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	4.6%
6 旭化成	新素材	絶え間ない事業転換を続ける伝統企業	4.4%
7 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	4.2%
8 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	4.2%
9 シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	4.2%
10 コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	4.0%

※「業種別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。※その他とは現金等を指します。
 ©「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

1月のファンドの月間リターンは+1.94%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

1月の内外株式市場は、世界が注目していた第二期トランプ政権がスタートしました。就任早々から公約実現のための政策を矢継ぎ早に打ち出し、大統領署名や覚書にも次々と署名するスタートダッシュは、入念な準備がされていたことを示しています。関税賦課の方針も改めて表明され、市場への影響も少なくありませんでした。

また、ソフトバンクグループが米国でのAI開発事業に4年間で5,000億ドルを投資するとの報道や、中国のDeepSeekが低コストで高性能の生成AIを開発したとの報道も株式市場に影響を与えました。一方、国内市場でも、こうした報道を受けて自動車関連株や半導体関連株が影響を受け、株価の変動が大きくなりました。業種別では、東証33業種のうち証券・商品先物、その他製品、銀行が騰落率上位、海運、電気・ガス業、卸売が下位となりました。

当マザーファンドは、月間で+1.56%の上昇となりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+0.14%の上昇、日経平均株価は▲0.81%の下落となりました。

投資先29銘柄中、15銘柄が値上がりし、14銘柄が値下がりました。上場来高値を更新した銘柄は1銘柄、年初来高値を更新した銘柄は2銘柄ありました。

個別銘柄の月間騰落率では、LITALICO+23.69%、楽天G+14.40%、任天堂+10.43%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、信越化学工業▲7.91%、ユニ・チャーム▲6.72%、資生堂▲6.06%となりました。

株式の組入比率は98.6%と前月比+0.9%の上昇となりました。当ファンドの組入銘柄数は変わらずの29社となっています。

引き続き、トランプ大統領の政策に注目が集まりますが、私たちは、来期の企業業績に目線を移して、定点観測を続けていきます。来期も全体的に増益基調が続くと見ていますが、引き続き丁寧な調査と分析を続けていきます。NISAの成長投資枠の対象となっている国内アクティブファンドである当ファンドをよろしくお願ひ申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (6501) 日立製作所

日立製作所は1月31日、2025年3月期第3四半期決算を発表しました。第3四半期（10～12月）の連結業績は増収増益となり、再編の影響を除いた主要3セクターの合計でも増収増益となりました。好調な事業環境を踏まえ、通期の業績見通しを上方修正するとともに、2024中期経営計画の目標も概ね達成する見込みです。業績好調の主な要因は、再生可能エネルギー関連や送電網設備の更新案件の堅調な推移に加え、国内IT市場でのDX需要やシステム更新需要の拡大が追い風となっていることです。受注高も好調に推移しており、第4四半期以降もこの流れが続くと見込まれます。

また、来年度からは新たな中期経営計画がスタートします。4月1日付けで就任する徳永新社長のもと、計画がステークホルダーの期待に応える内容となるか、また目標達成に向けた道筋が明確で着実に遂行できるか、引き続き注視していきます。

シニア・アナリスト 末山 仁

■ (3382) セブン&アイ・HD

セブン&アイ・HDの2025年2月期第3四半期（9～11月）の営業利益は1,284億円、前年同期比24%減と3四半期連続の減益となりました。通期の営業利益計画の4,030億円、前期比25%減については変更ありません。業績が低調な理由は、米国7-Eleven, Inc.の苦戦が続いていることや、セブン-イレブン・ジャパンの収益回復が遅れていることです。消費構造の変化などに対応できなかったことが背景にあります。今後の商品および価格戦略の見直しや構造改革の効果に期待したいです。

セブン&アイ・HDは、現在、カナダのコンビニ大手「アリマントーション・クシュタール」から買収提案を受けています。これに対抗する形で創業家を中心とする側も、会社の株式を買収し非上場化する検討を進めています。セブン&アイ・HDは、会社として独立して経営を行う案も含めて、どの提案が最善かを判断していくこととなります。

シニア・アナリスト 上野 武昭

■ (6902) デンソー

1月31日に2025年3月期第3四半期決算及び通期業績見通しの変更を発表しました。主に為替の円安効果の取り込みで売上収益のみ前回予想7兆200億円から7兆900億円へ上方修正しました。エリア別の状況は、中国では日系自動車メーカーを中心に苦戦、欧州も現地自動車メーカーの苦戦が際立っており構造改革に着手しています。また米国は関税政策により当社の価格競争力が一定の影響を受ける見込みです。

そのような中、中長期の事業戦略は予定通りの進捗です。特に自動車運転時の視認性向上を目的としたレーダーや画像センサー等のADAS(先進運転支援システム)製品の市場供給が来期より顕在化します。日系以外の自動車メーカー向け・新世代の高付加価値品としての供給です。株価は昨年夏以降低位横這いの状況が続いていますが年間4,500億円の自社株買いの進捗は良好で、株式市場を強く意識したコーポレートアクションは継続されております。マクロ環境に屈しない当社の自律成長が株価に評価されるまで、長い目線で確認いただければと思います。

アナリスト 古川 輝之



春休みはこどもトラストセミナーへ！

3月は、コモンズ投信の投資先企業に伺って体験する、こどもトラストセミナーを2つ続けて開催します。春休みはぜひ、コモンズ投信のこどもトラストセミナーに親子でご参加ください。



こどもトラストセミナー企業編
【食品トレーのエフピコ】
リサイクルのひみつを見つけに行こう！

①こどもトラストセミナー

【食品トレーのエフピコ】リサイクルのひみつを見つけに行こう！
3月26日（水）13:00～16:00

スーパーの食品売り場に並ぶお刺身やお肉、お弁当などに使われている食品トレーを作っているエフピコ。

エフピコは食品トレーを作るだけではなく、使用済みトレーやPETボトルをお店から回収し、新しい食品トレーに生まれ変わらせる「循環型リサイクル」を世界で最初に始めました企業でもあり、我々の食生活を豊かにするお手伝いもしています！

今回の工場見学では、食品トレーやPETボトルを選別してからエコトレーが出来上がるまでの工程を学ぶことができます。

また、エフピコでは多くの障がい者が活躍しており、使用済み食品トレー・容器の選別や製造を支えています。このツアーを通じて、エフピコの取り組みやエフピコ方式のリサイクルのひみつを見つけに行きましょう！

②こどもトラストセミナー

【検体検査ならおまかせ！】シスメックスの最新技術を体験しよう！
こどもトラストセミナー
3月27日（木）12:50～16:45

シスメックスは血液や尿などを採取して調べる検体検査分野を中心に事業を展開し、現在は190以上の国や地域で、人々の健康を支えている会社です。

今回はシスメックスのテクノパーク イーストサイトとソリューションセンターの2つの施設を訪問し、バイオ診断薬生産工場の見学（クイズラリー）や免疫試薬容器の組み立て体験、そして、手術支援ロボットシステム（hinotori™）の操作体験やショールームでの装置見学を行います。

親子で一緒に、エフピコやシスメックスになぜ投資しているかを学び、企業がどんな価値を創出しているのかを体感してみましょう。

①こどもトラストセミナー

【食品トレーのエフピコ】リサイクルのひみつを見つけに行こう！

<https://mf.common30.jp/contents.php?c=info&id=i01jjte06445jg7jc38janvdrfm&item>

②こどもトラストセミナー

【検体検査ならおまかせ！】シスメックスの最新技術を体験しよう！

〈お子様申込専用〉

<https://mf.common30.jp/contents.php?c=info&id=i01jj8bv438e4ttk67c0p17dp4s&item>

〈大人申込専用〉

<https://mf.common30.jp/contents.php?c=info&id=i01jj92y2vcphtrfa3xatf4f4v&item>

<申込期間>

2/10（月）～3/2（日）終日

※こどもトラスト口座をご開設されている方を優先とさせていただきます。

※新規口座開設の方向けの優先予約枠もございます。詳細ページよりご確認ください。



3/27 (木)

こどもトラストセミナー企業編

【検体検査ならおまかせ！】
シスメックスの最新技術を体験しよう！



Medcaroid

Medcaroid

マーケティング部 齋藤 亮



ちょっといい話

【株価でなく企業価値への投資】

2025年も早くも2月ですが、毎朝、少しずつ日が長くなってきていることも実感しています。さて、昨年、当ファンドの組入銘柄をみると、任天堂、KADOKAWA、味の素、セブン&アイ・HD、日立製作所、コマツ、ディスコ、丸紅、堀場製作所、三菱商事、日東電工、デンソー、東京エレクトロン、ホンダ、信越化学工業、SMCの16社が上場来高値を更新しており、組入銘柄も私たちの投資の観点に沿った業績を維持していると考えています。

一方で昨年は、ベネッセHDがMBO（マネジメントバイアウト）で非上場化、セブン&アイ・HDがカナダの大手コンビニエンスストアから買収提案、KADOKAWAがソニーGと資本業務提携、ホンダと日産が経営統合の検討と、大きなコーポレートイベントが重なりました。まさに日本の資本市場がダイナミズムを発揮し始めたことを実感しています。

私たちは株価を追いかける投資ではなく、企業価値への投資を実践しています。株価の変動を追いかけるのはエキサイティングではありますが、再現性が低い投資手法とも言われます。つまり、いい結果が出せても長続きは難しいということです。

一方で、企業価値への投資は、強固なビジネスモデルへの投資とも言えます。再現性も高いです。強固なビジネスモデルであれば、為替や金利、政治や地政学的リスクをも乗り越えていくはずで、こうした企業へ投資が出来ていれば、安心して長期保有を続けられます。強固なビジネスモデルを持つ企業の特色として、参入障壁を構築することで競争力が高く、結果として利益率も高い。だから株価も長期的に上がっていくわけです。株価は最終的に業績に連動します。

では、この強いビジネスモデルを高め、維持する方法は何か。それは、人材です。良い経営層、幹部、若手社員が競争力の源泉のほうです。では、良い人材が力を発揮するには何が必要でしょうか。やはり企業文化でしょう。

コモンズ30マザーファンドは、「収益力」、「競争力」、「経営力」、「対話力」、「企業文化」の5つの軸で投資判断を行っています。トランプ大統領をトップに米国は、新しい国際経済秩序の構築にチャレンジしはじめたと考えています。こうした外部環境の変化を乗り越えて行く強くて良い企業への投資を地道に丁寧に続けて参ります。引き続き、ご期待ください。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		一般社団法人 日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社 SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2014年12月29日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時30分までです。午後3時30分を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル16階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-5860-5706
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>